

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1番10号 住友精密工業(株) 本社内

TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

第10回技術講演会の開催

平成30年度の第1回目となる第10回技術講演会を8月1日(水)13:30~17:00 機械振興会館 研修2号室にて開催いたしました。

今回は、講師に前回の RoHS 指令に引き続き、テュフ ラインランド ジャパン株式会社をお願いして、製品部産業機器課セールスエグゼクティブの穂原一真様に来ていただきました。演題は「CE マーキング~初心者からわかる! 制度の考え方と進め方~」です。

CE マーキングは、産業機械・機器を欧州へ出荷する際に必ず耳にする制度ですが、対応経験がないという方は勿論、下記のような方も多く見受けられます。

- ✓ なんとなく知っているが誰かに説明できるほどではない
- ✓ 対応したことはあるけれど全体像がよく理解できていない
- ✓ 自分達で進めるに際しどこから手を付けてよいかわからない



CE Marking

主要目次

ISSN. 1345-2371

拡大中小企業委員会・・・・・・・・・・1	中小企業関連事業・・・・・・・・・・4
委員会開催・活動状況	工業会ニュース・・・・・・・・・・4
標準化事業/ISO 対策事業・・・・・・・・2	会員ニュース・・・・・・・・・・4
標準化事業/規格事業・・・・・・・・2	統計資料・・・・・・・・・・7
技術調査事業・・・・・・・・・・3	

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.jfpa.biz/>



講演会風景

そこで今回は、気軽に質問・相談でき、個々に抱えている疑問や社内での課題なども解決できるセミナー（勉強会）形式の講演会を企画しました。“自分達で進め方を考えていく”ようになっていただくことを目指し、講師の意向により、講師側から一対一で参加者に質問が出されたり、隣の参加者と相談して答えたり、クイズ形式の設問に◎×の札で答える場面も頻繁にあり、3 時間半という長時間だったにもかかわらず短く感じるほどのセミナーでした。



プロジェクターを例に CE マーキングの説明をする 穂原講師

70 名の参加者の皆様も、楽しんでクイズに答えていたようで、新入社員が初めて制度を聞く機会として、また経験者が改めて CE マーキングを理解する場として、効果的で意図通りのセミナーになったようです。終了後に書いていただいたアンケートには多くの質問や意見が寄せられ、興味深く聞き入っていたことがうかがえました。質問には追って回答をいただくことにしております。

なお、配布資料の目次も、

1. 勉強会の目的・CE マーキング例・自己紹介・基本的な考え方
2. CE マーキングに関するクイズ
3. CE マーキングまとめ
4. 勉強会まとめ
5. テュフラインランド紹介
6. まとめ

であり、話の内容を都度確認する仕組みになっていて、さすがプロの講師との印象を受けました。

2 回にわたる技術講演会にご協力いただいた テュフ ラインランド ジャパン株式会社の関係者の皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。

参考)

講師の穂原様には、機関誌「フルードパワー」夏号 (VOL. 32, NO. 3, 2018/7 発刊) に関連する解説記事を書いていただきました。会員サイトにてご覧ください。

また、テュフ ラインランド ジャパンの公式ブログにて「CE マーキング～はじめの一步～」と称し、今回のセミナーの紹介記事を掲載させていただいております。興味のある方はご確認願います。

~~~~~  
標準化事業／規格事業  
~~~~~

#### 油圧バルブ分科会

日 時 8 月 20 日(月) 13 : 00～16 : 00

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 浦井主査以下 9 名

事務局 前畑

#### 議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、JIS B 8668 (油圧-2 ポート形スリッピン式カートリッジ弁-取付面及び取付穴寸法) の改正に関して、日本規格協会担当者にも参画頂き、本文及び解説の詳細部分について審議した。指摘部分を修正の上、規格調整原案として日本規格協会に提出こととした。

次いで、現在投票に掛かっている案件について審議した。まず、ISO/SR 6263 については、特に問題は指摘されていないため、Confirm (確認) にて投票することとした。また、ISO/SR 9461 については、ドレンポート DR 及びゲージポート G を追加することをコメントとして Revise (改正) で投票することとした。

次いで、本年 5 月に開催されたロンドン国際会議、及び、6 月に開催された技術標準化委員会に

ついて報告があり、情報共有した。

最後に、ポケットブック改訂について討議した。今まで出された意見に加えて、各委員からの意見を集約し本分科会のまとめとすることとした。

次回開催：2019年1月29日(火) 機械振興会館

#### 油圧システム分科会

日時 8月21日(火) 13:00~16:00

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 町田主査以下7名

事務局 前畑

#### 議事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、平成30年 JIS 公募案件として採用された JIS B 0125-1 (油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第1部: 図記号) の改正について、本 JIS は油圧だけではなく空気圧も含まれるため空気圧システム分科会からも参加して審議した。対応 ISO 規格と JIS を比較しながら、変更該当箇所の修正作業を行った。

次回開催：10月2日(火) 機械振興会館

#### 空気圧調質機器分科会

日時 8月22日(水) 13:00~16:00

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 國崎主査以下7名

事務局 前畑

#### 議事

委員の交代があり、小田委員(甲南電機)が阪上委員に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、サイレンサ規格 ANNEX(normative)に関して、日本案としてオリフィス寸法等の詳細項目について原案の作成作業を行った。来年2月までに作成完了し、ドイツに送付することとした。

最後に、JIS B 8372-2 (空気圧-空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁-第2部: 供給者の文書に表示する主要特性の試験方法) 改正について、前回に引き続き、対応国際規格 ISO 6953-2 との対比しながら修正作業を行った。

次回開催：11月1日(木) 機械振興会館

#### 空気圧バルブ分科会

日時 8月30日(木) 13:00~16:00

場所 械振興会館 6-63 会議室

出席者 大島主査以下5名

事務局 前畑

#### 議事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、現在投票に掛かっている ISO/SR 17082 について審議し、特に問題は指摘されていないため、Confirm (確認) にて投票することとした。

次いで、来年度以降の JIS 見直し案件について審議した。JIS B 8373 が対象になっているが、制定後5年と間もないため特に改正必要な部分はなく、確認にて処置することとした。

最後に、JIS B 8672-2 (空気圧-試験による機器の信頼性評価-第2部: 方向制御弁) に関して、対応国際規格 (ISO 19973-2) と対比しながら改正必要部分と内容を確認した。

次回開催：10月25日(木) 機械振興会館

#### 発行された JIS

JIS B 8390-2: 空気圧-圧縮性流体用機器の流量特性試験方法-第2部: 代替試験方法

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

#### 技術委員会 水圧仕様技術調査 WG (平30第3回)

日時 8月8日(水) 14:00~17:00

場所 機械振興会館 B3-7 号会議室

出席者 黒須主査以下8名

事務局 宮川、大橋

#### 議事

##### 1. 現状水圧機器仕様調査

過去2年間の総括報告に、各担当による肉づけを行った。当報告の纏めを持って一旦作業を中断し、ADS 国際標準化事業の ISO 提案に関わる規格原案の作成に協力することになった。

##### 2. ISO 提案への取り組み

上記に基づき、大日程計画の最新版を確認し、ISO 案 Part2 の和文規格、ポンプ試験方法(案)について大林委員が解説し、内容の検討、審議を行った。併せて Part3 のシリンダ、Part4 の(圧力)制御弁に関する検討案を、細井委員、井口委員が紹介した。

ポンプ試験方法については、大林委員が追補して眞田先生に提出、英語化を依頼することとした。  
次回開催：10月24日(水)、機振会館 B3-7

#### 技術委員会空気圧部会第550回特許分科会

日時 8月24日(金)

場所 名古屋市国際展示場交流センター  
3階 控室

出席者 今野幹事以下4名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。2件についてはウォッチングを継続することとした。1件については見解書作成依頼に関する報告があった。2件については引き続き調査を行うこととした。1件については新たな証拠資料が提出され、見解書の作成を依頼することとした。  
次回開催：9月21日（金）機械振興会館 6-61

~~~~~

振興対策事業

~~~~~

産機・建機部会

日 時 8月31日（金）13:00~17:00

場 所 新明和工業㈱甲南工場

出席者 寺田部会長以下5名

事務局 藤原、唯根

議 事

新明和工業㈱甲南工場にて産機・建機部会工場見学会を行った。鶴村部長より挨拶頂き、瀬谷崎様による会社概要説明の後、新明和工業の原点である航空機事業工場を行った。なお、新明和工業では多数の事業を展開しているが、事業部での人の入れ替え・交流はほとんど行っていないとのこと。

今回の見学では救難飛行艇 US-2 の 3 号機がドッグ入りしており、整備・点検を見学することができた。飛行艇の発注自体が特殊なため機械化は行われておらず、手作りで丹念に仕上げている様子が伺えた。US-2 が着水可能な波の高さは 3 メートルとなっており、カナダ・ボンバルディア社の CL415 は 1.8 メートル、ロシア・ベリエフ社の Be200 は 1.2 メートルであることを考えれば、US2 能力の高さが理解できる。なお、ドッグへは大阪湾に着水後湾岸線の橋をくぐり、工場横にある港のスロープを使って自力で上がってくるとの説明を受けた。また、Tier1（1次下請け）に認定され生産しているボーイング 777 の翼胴フェアリング生産については、播磨分工場を生産拠点に加え、金属部品の加工は播磨分工場、複合材料の加工は甲南工場で分担製造した後、宝塚分工場にてこれらを集約して最終組み立てを行うことで、さらなる品質および生産性の向上、並びに生産能力の拡大を図っているとの説明を頂いた。独自のモノ創りと夢の実現に挑み続けられ、広く社会に貢献しておられる事を学ばせて頂いた。  
工場見学終了後懇親をリーガロイヤルホテル大阪・皇家龍鳳で行った。

~~~~~

その他事業

~~~~~

日 時 8月21日（火）

場 所 (株) KHK 野田工場（千葉県野田市中里 143 番地）

参加者 9名

事務局 藤原

内容

（一社）日本歯車工業会主催の「歯車入門勉強会」に合同参加の要請があり、会員に案内したところ 5社10名が参加した。（うち1名は事務局）この勉強会は、各企業の新入社員や非製造部門の従事者を対象としたもので、当日、歯車工業会栄野会長挨拶の後、(株) KHK 野田の小原代表取締役社長の会社概要説明の後、工場見学及び歯車勉強会を行った。



（歯車工業会栄野会長挨拶）

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

- ☆10月11日（木）西日本支部総会  
第84回理事会  
（場 所）都ホテルニューアルカイク
- ☆10月12日（金）西日本懇親ゴルフ会  
（場 所）西宮カントリー倶楽部
- ☆11月1日（木）～11月6日（火）JIMTOF2018  
（場 所）東京ビッグサイト
- ☆12月21日（金）第29回政策委員会  
（場 所）JFPA 会議室
- \*平成31年
- ☆1月16日（水）年始会・第85回理事会  
（場 所）東京プリンスホテル（芝公園）
- ☆3月29日（金）第30回政策委員会  
（場 所）JFPA 会議室

☆4月19日(金)第86回理事会  
 (場 所) ザ・プリンスさくらタワー  
 (高輪)

☆5月16日(木)第20回定時総会  
 (場 所) 東京プリンスホテル(芝公園)

☆5月17日(金)第58回JFPAゴルフ懇親会  
 (場 所) 程ヶ谷カントリー倶楽部

~~~~~  
 8月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
 は以下の通りです。(敬称略)  
 ~~~~~

(技術委員会技術講演会)  
 日 時 8月1日(水) 13:30~17:00  
 場 所 機械振興会館 研修2号室  
 出席者 70名  
 事務局 藤原、前畑、大橋  
 (1頁及び2頁参照)

(標準化事業/規格事業)  
 油圧バルブ分科会  
 開催日 8月20日(月)  
 出席者  
 主 査 浦井隆宏(ボッシュ・レックスロス)  
 委 員 中村雅之(KYB)  
 // 中野潤(ナブテスコ)  
 // 原健二郎(川崎重工業)  
 // 安永和敏(東京計器)  
 // 藤坂昌廣(豊興工業)  
 // 高野一治(油研工業)  
 // 八上光春(廣瀬バルブ工業)  
 特別委員 渡邊康博(日本規格協会)

油圧システム分科会  
 開催日 8月21日(火)  
 出席者  
 主 査 町田哲治(東京計器)  
 委 員 伊藤隆(KYB)  
 // 山本裕(ボッシュ・レックスロス)  
 // 中川幸隆(川崎重工業)  
 // 藤城隆一(不二越)  
 // 渋谷文昭(東京計器)  
 特別委員 増尾秀三(CKD)

空気圧調質機器分科会  
 開催日 8月20日(水)  
 出席者  
 主 査 國崎雄嗣(CKD)

委 員 三村岳(SMC)  
 // 出澤大(クロダニューマティクス)  
 // 土岐真人(コガネイ)  
 // 小田敏裕(甲南電機)  
 // 阪上隆之(甲南電機)  
 // 高橋隆通(甲南電機)

空気圧バルブ分科会  
 開催日 8月30日(木)  
 出席者  
 主 査 大島雅之(SMC)  
 委 員 夏目清辰(CKD)  
 // 石毛浩二(クロダニューマティクス)  
 // 田路渡(甲南電機)  
 // 八手又秀浩(日本ピスコ)

(技術調査事業)  
 技術委員会 水圧仕様技術調査WG(平30第3回)  
 日時 8月8日(水)  
 出席者  
 副 査 大林義博(KYB)  
 委 員 井口 務(廣瀬バルブ工業)  
 // 田邊康伸(廣瀬バルブ工業)  
 // 細井耕平(堀内機械)  
 // 内田 晃(日本アキュムレータ)  
 // 鈴木敏充(イハラサイエンス)  
 // 鳥居良介(阪上製作所)  
 オブザーバ 吉田太志(KYB)

技術委員会空気圧部会第550回特許分科会  
 開催日 8月24日(金)  
 出席者  
 幹 事 今野英俊(コガネイ)  
 委 員 井野雅康(SMC)  
 // 河野喜之(甲南電機)  
 // 細田一也(CKD)

(振興対策事業)  
 産機・建機合同部会  
 開催日 8月31日(金)  
 出席者  
 部長 寺田 稔(ダイキン工業)  
 // 脇村良二(ボッシュ・レックスロス)  
 // 堀 讓二(油研工業)

~~~~~  
 月間行事概要  
 ~~~~~  
 <8月>

- 1 日 (水)  
・技術委員会技術講演会 (第 10 回)
- 20 日 (月)  
・標準化 (委) 油圧バルブ分科会
- 21 日 (火)  
・標準化 (委) 油圧システム分科会
- 22 日 (水)  
・標準化 (委) 調質機器分科会
- 24 日 (金)  
・技術 (委) 空気圧部会第 550 回特許分科会
- 30 日 (木)  
・標準化 (委) 空気圧バルブ分科会
- 31 日 (金)  
・振興対策 (委) 産機・建機部会

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---